

TOTO

小型電気温水器（元止め式）



湯ぽっと
REA01型・RE01M型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

7 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けいただき、使用者への危害や財産への損害
および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、次のようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡 または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害 を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容 を示しています。

絵表示については次の意味があります。





絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		アースを 接続せよ		必ず実行

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具のガタ
つきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に商品を正しく安全に使用
していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、
工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。

なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠ 警告

 分解禁止	修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に 分解・修理・改造は行わない 感電や故障などの原因になります。
 禁止	指定する電源以外では使用しない ヒーターの断線・火災などの原因になります。
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない 感電・火災の原因になります。
	屋内用のため、屋外には設置しない 感電や故障の原因になります。 コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない 火災の原因になります。
 水場での使用禁止	水・油・洗剤などがかかる位置に電気温水器本体および電源プラグ用の コンセントを設けない 感電や故障の原因になります。
	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の高い場所、特に 浴室やシャワールームには使用しない 感電や故障の原因になります。
 アース接続	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」 が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う 誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

7 安全上の注意 (つづき)

警告



必ず実行

開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する
段ボールやビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

漏電遮断器を取り付ける 感電や火災の原因になります。

注意



禁止

タンク内が満水になっていないときは、絶対に電源スイッチを入れない
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

水道水以外は、通水しない
井戸水や造水などを使用すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。

商品に強い力や衝撃を与えない 故障や水漏れの原因になります。

専用水栓の吐水口にホースや浄水器、節水器具などの抵抗となるものを接続しない
機器の破損や水漏れの原因になります。

飲料用に用いない
健康を害するおそれがあります。

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる
フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。

水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする
空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。

設置する際は必ず天面を上にして水平に取り付ける
天面を上にしないうち高温の湯が出湯されやけどのおそれがあります。

REA01型は寒冷地対応品ではないため、凍結のおそれのある場合は、必ず凍結予防処置(保温材巻、電気ヒーターなど)を行う
REA01M型は凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く「11. 水抜き方法」を参照ください。
凍結破損し水漏れするおそれがあります。

必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける
凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。

必ず専用水栓を使用する 水漏れの原因になります。

フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、止水栓または元栓を閉めてから行う
水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

おねがい

給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.05MPa・最高水圧(静止時)0.75MPaです。
この圧力の範囲内でご使用ください。
(0.05MPa未満で使用すると、流量が少なくなります。)

給水管にはフレキシブル管をご使用ください。
(鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り動作不良を起こす場合があります。)

必ずフィルター付き止水栓(必要別売品)を取り付けてください。

取扱説明書内の保証書に、取付工事店または販売店名および取付日を必ず記入してください。

空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不具合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。

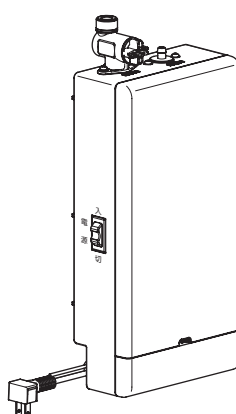
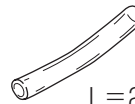



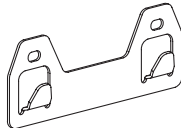

天井裏など日常点検ができない場所への設置は避けてください。

コンセントは、接地用端子の付いた接地極付コンセントを取り付けてください。

ケースにテープで貼られている注意事項は必ずお読みください。

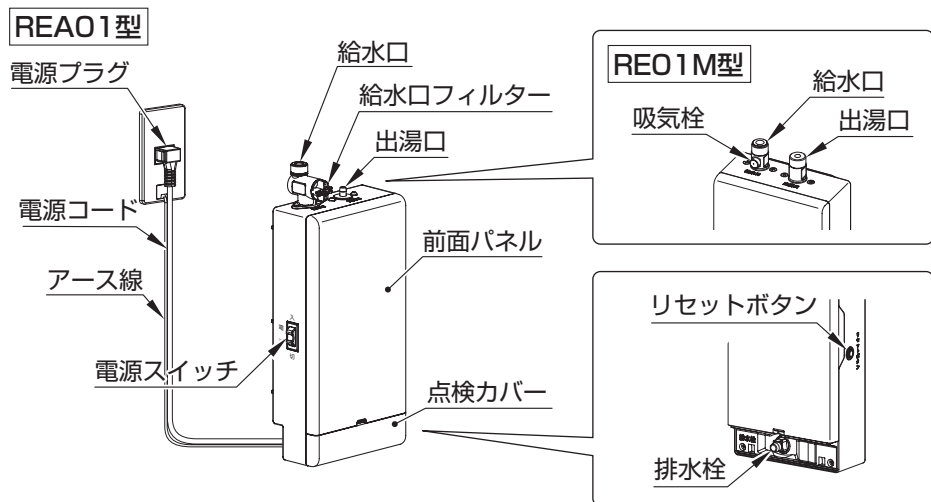
2 部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

①電気温水器本体	②下図参照
	水抜きチューブ  L=200mm 取扱説明書  施工説明書 
	開閉工具 (REA01型のみ)  お客様にお渡しください
	③取付金具類
	取付金具  木ねじ (φ5.1×32)×3 

※機種により配管接続口形状が異なります。

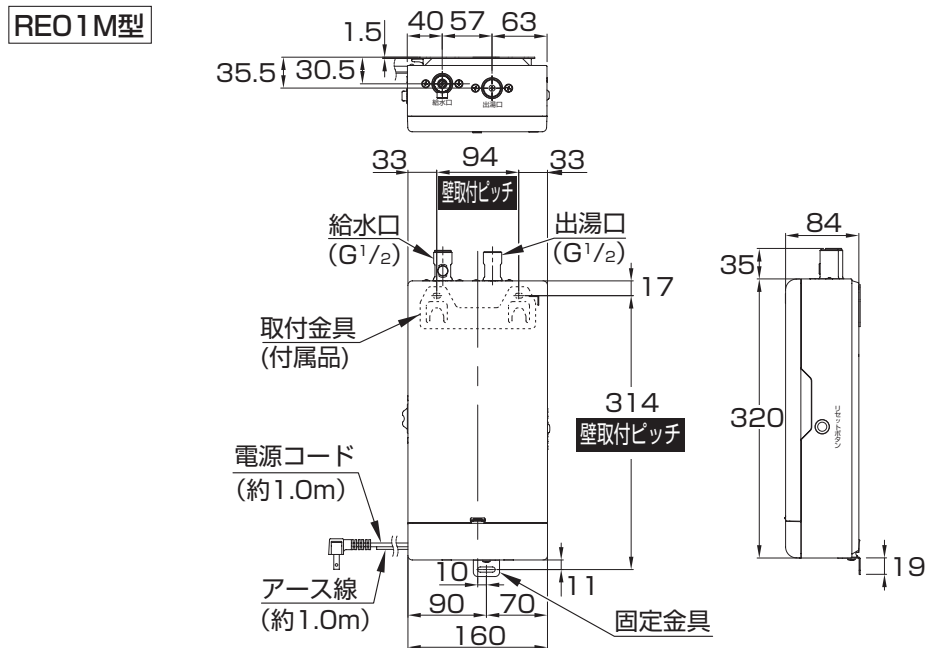
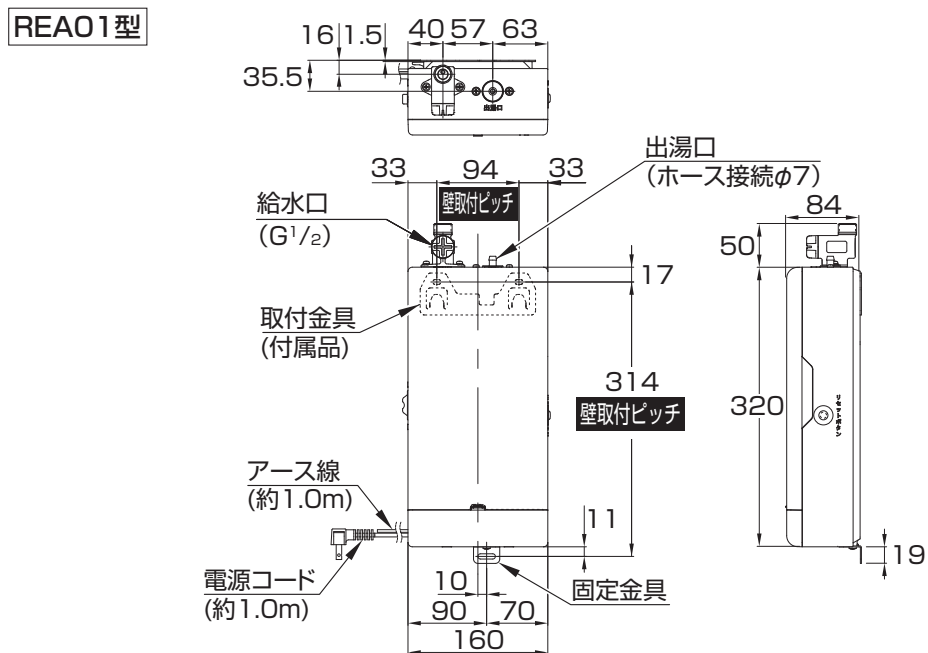
3 各部の名称



4 仕様

給水方式	元止め式	
沸き上がり温度	約 38℃	
出湯温度	約 38℃ (温度範囲: 約 27 ~ 42℃)	
安全装置	自動復帰式バイメタル+手動復帰式バイメタル	
使用環境温度	1 ~ 40℃	
使用水圧	最低必要水圧 (流動時)	0.05MPa
	最高水圧 (静止時)	0.75MPa
商品質量 (満水時)	REA01 型	約 2.3kg (約 3.3kg)
	RE01M 型	約 1.8kg (約 2.8kg)
電圧	AC100V	
消費電力	505W	
電源コード・アース線長さ	約 1.0m	

5 寸法図

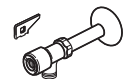
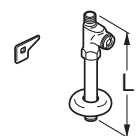
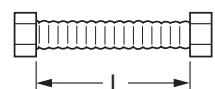


6 別売品一覧

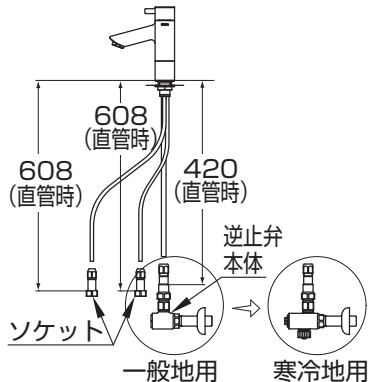
★は必要別売品です。

REA01型

品名	形状	品番	スイッチ	ワンプッシュ式 排水金具対応	備考
★スパウト (Aタイプ)		TLE28002J型	—	—	—
★スパウト (コンテンポラリー) (直線)		TLE35004J型	—	—	—
★スパウト (コンパクト) (手洗器用)		TLE38001J型	—	—	—

品名	形状	品番	備考
★アングル形 止水栓		TL347CU	給水用フィルター付き (壁給水用) (開閉工具付き)
★ストレート形 止水栓		TL348CU	給水用フィルター付き (床給水用) (開閉工具付き) (L=281mm)
★連結管		RHE436-10	L=100mm
		RHE436-15	L=150mm
		RHE436-20	L=200mm
		RHE436-30	L=300mm
		RHE436-35N	L=350mm
		RHE436-40	L=400mm
		RHE436-45N	L=450mm
		RHE436-50	L=500mm
		RHE436-60	L=600mm
		RHE436-75	L=750mm
RHE140	L=850mm		

REO1M型

品名	形状	品番	備考
★専用単水栓		一般地用 TLC11ER (壁給水用)	元止め式 専用単水栓
		一般地用 TLC11EDR (床給水用)	
		寒冷地用 TLC11ERZ	

7 標準施工図

注意

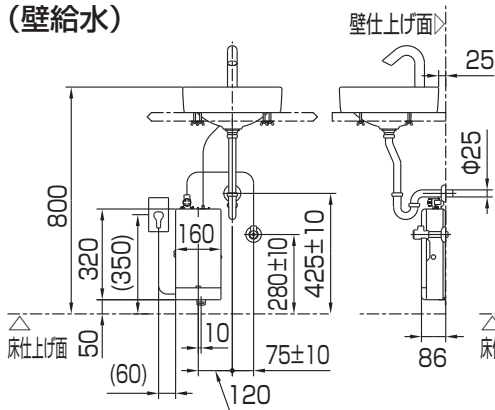
本体を床仕上げ面から50mm以上離して取り付けてください。
側面の壁から50mm(メンテナンスに必要な寸法)以上離して取り付けてください。

REA01型

〈カウンター式手洗器(ベッセル式)の場合〉

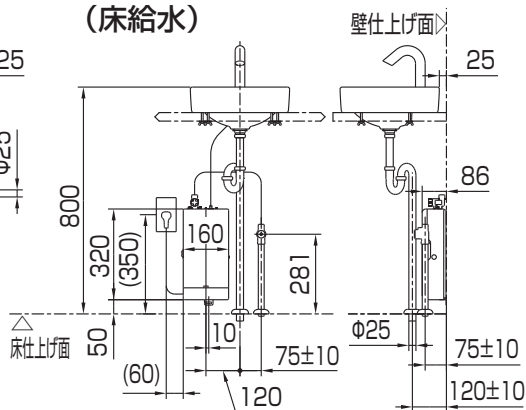
対象手洗器:L652D/L723/L724/L725/LS901 ※図はL652D
(手洗器によって止水栓などの位置が異なる場合があります。)

(壁給水)



給水側連結管長さ 500mm

(床給水)

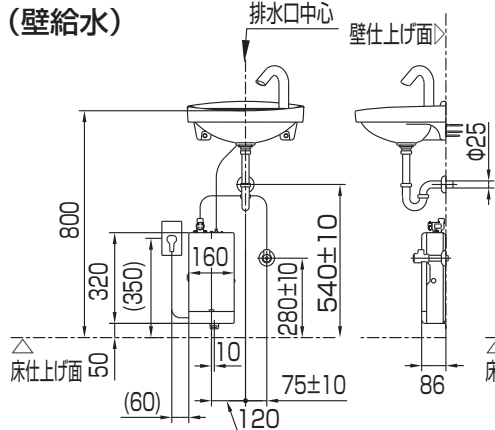


給水側連結管長さ 500mm

〈壁掛手洗器の場合〉

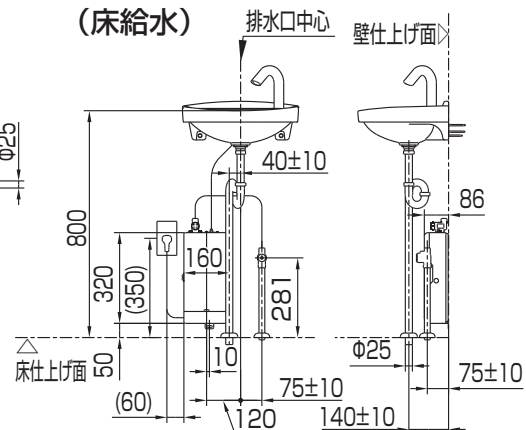
対象手洗器:L30D・DM/L650D ※図はL30D

(壁給水)



給水側連結管長さ 500mm

(床給水)



給水側連結管長さ 500mm

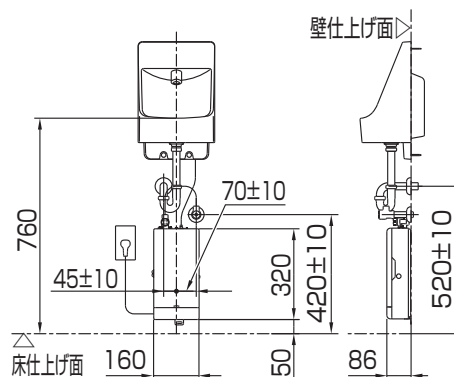
注意

トラップカバーを取り付ける際、床に給水・排水がある場合はフランジを必ず取り外してください。

※トラップカバーを取り付ける場合、トラップカバーの施工説明書と合わせてご覧ください。

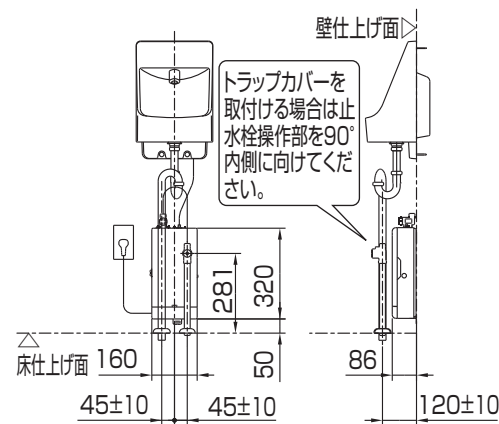
〈コンパクト手洗器L570Aの場合〉

(壁給水)



給水側連結管長さ 300mm

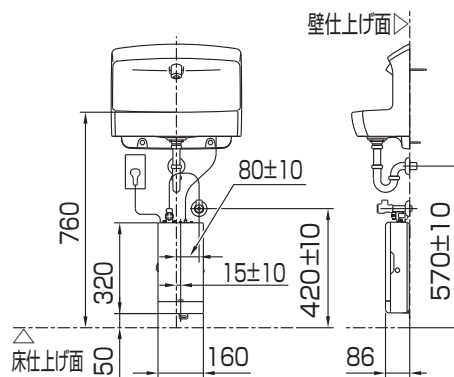
(床給水)



給水側連結管長さ 400mm

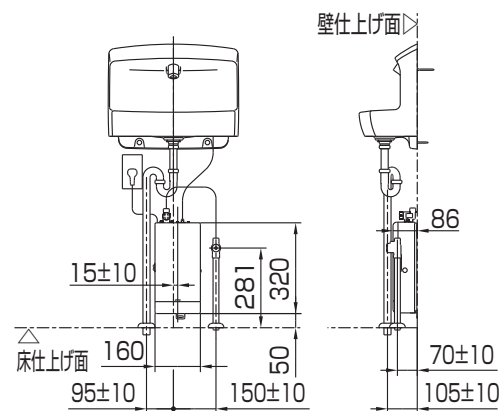
〈コンパクト手洗器L870Aの場合〉

(壁給水)



給水側連結管長さ 300mm

(床給水)

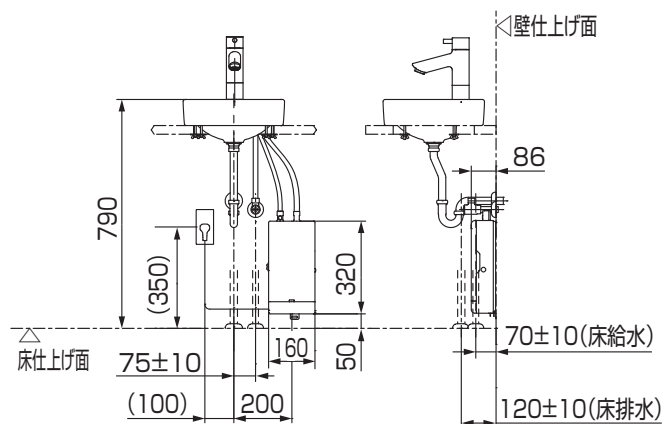


給水側連結管長さ 400mm

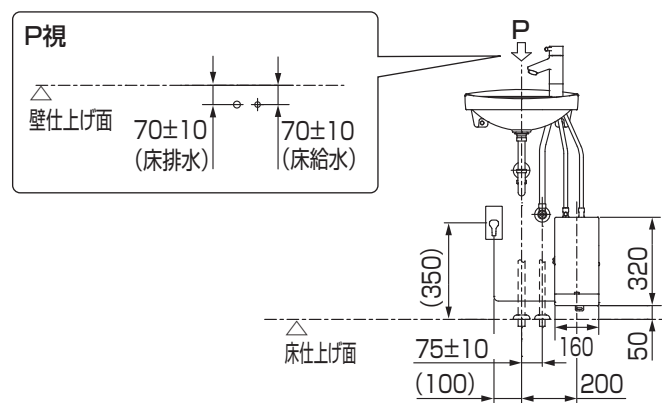
7 標準施工図(つづき)

RE01M型

〈カウンター式手洗器 L652D の場合〉



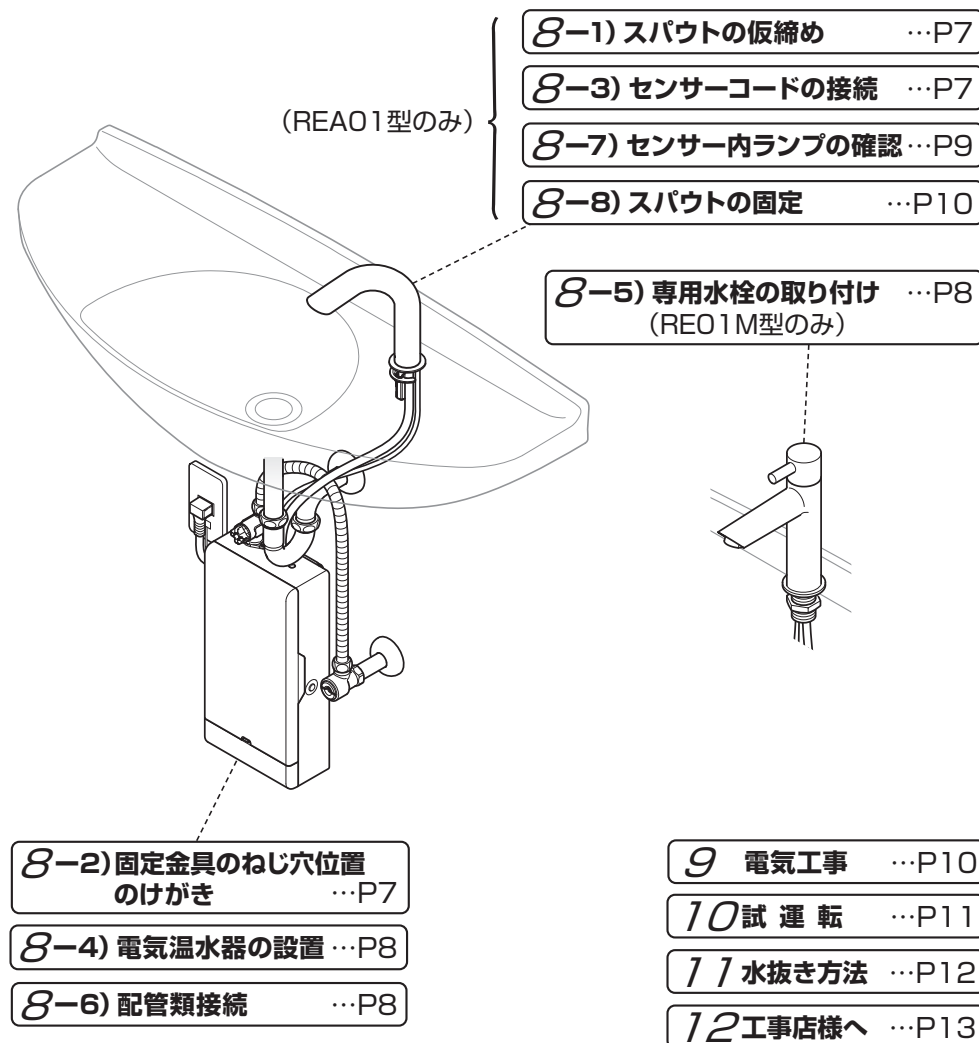
〈壁掛手洗器 L30DM の場合〉



8 取付手順

取付手順は以下の通りです。

注意 施工の際は、けが防止のため手袋などを着用して行ってください。



注意 クリーンドライ（温風乾燥器）などのセットではクリーンドライのセンサービームが陶器内に入らないように、それぞれを離してセットしてください。（RE01型のみ）
※インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。

8 取付手順(つづき)

注意

- 本体取付位置は、標準施工図を遵守ください。
- コンパクト手洗器のトラップカバーを取り付ける場合は、電気温水器を取り付ける前にトラップカバーの施工説明書に従ってトラップカバーの固定金具を先に取り付けてください。
- 電気温水器に幅木が当たる場合は幅木をカットしてください。
- 取付面がタイル・コンクリート壁の場合は市販のカールプラグをご使用ください。

1) スパウトの仮締め(REA01型のみ)

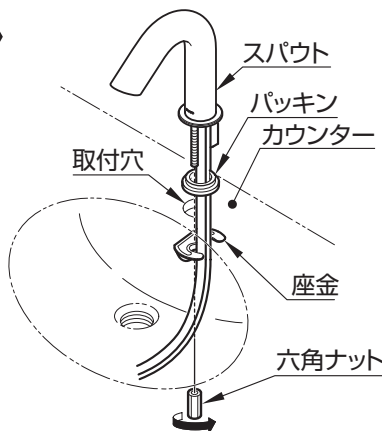
コンパクト手洗器に設置する場合は、スパウトに同梱の施工説明書に従って固定まで行ってください。

〈自動水栓の場合 (Aタイプ、コンテンポラタイプ(直線))〉

- ①スパウトを取付穴に差し込む。
- ②吐水口を排水口方向に向け、座金を六角ナットで仮締める。

注意

- スパウト連結ホースとコード類をかみ込まないようにしてください。
- センサー面を傷付けないよう十分注意してください。

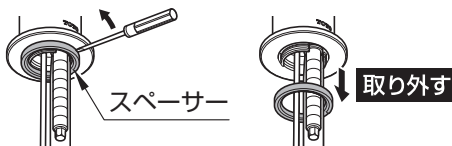


スパウトをカウンター取付穴に取り付ける場合

必要に応じてスペーサーを取り外してください。

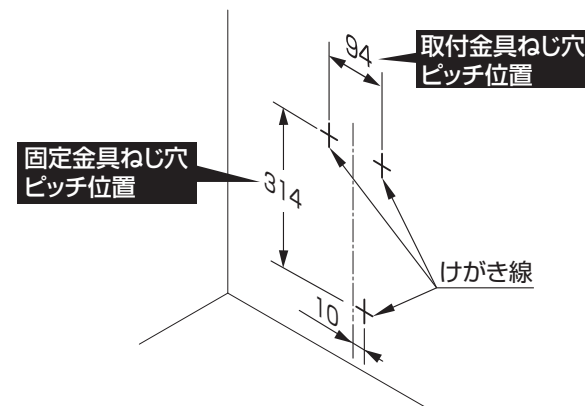
スパウト品番	取付穴径	スペーサー	座金
TLE28002J 型	φ25~φ29	有※	座金(中)
	φ33~φ37		
TLE35004J 型	φ25~φ29	無	座金(小)

※φ25~29の場合はスペーサーを取り外す。



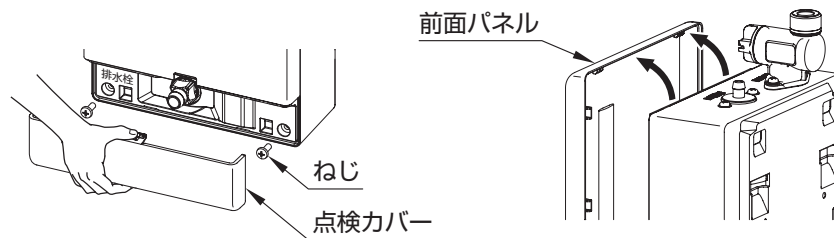
2) 固定金具のねじ穴位置のけがき

「5.寸法図」、「7.標準施工図」を参考にして電気温水器本体の固定位置を決めて壁にねじ穴位置をけがく。

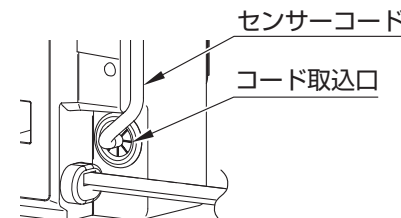


3) センサーコードの接続(REA01型のみ)

- ①点検カバーを取り外し、両サイドのねじ(2個)を取り外す。その後、前面パネルを上方に引き上げながら取り外す。(前面パネルは上部のツメで固定しますので取り外し時は注意してください。)

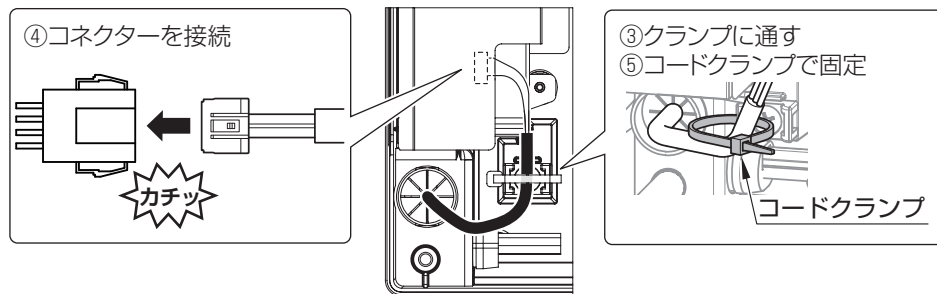


- ②スパウトのセンサーコードを背面のコード取入口から電気温水器本体内部へ差し込む。



8 取付手順(つづき)

- ③センサーコードをコードクランプに通す。
- ④センサーコードを電気温水器本体のコネクタに接続する。
- ⑤コードクランプでセンサーコードを固定する。
(コードの太い部分で固定してください。)



注意 コネクタはカチッと音がするまで確実に差し込んでください。
コネクタは真っすぐ付けてください。

- ⑥前面パネルを取り付けて、ねじ2個で固定する。その後、点検カバーを取り付ける。

4) 電気温水器の設置

設置を行う壁に応じて、取り付け前に下記準備を行ってください。

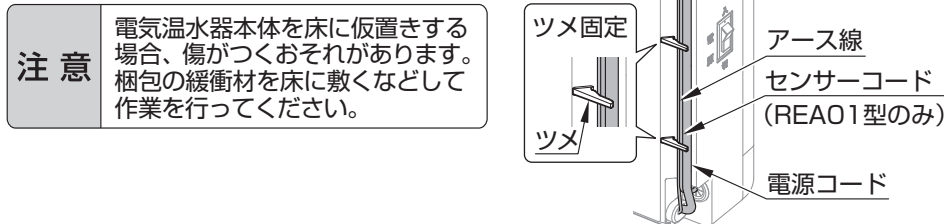
〈タイルまたはコンクリート壁に取り付ける場合〉

ねじ穴位置に下穴を開けカールプラグ(現場手配)を打ち込む。
※カールプラグは木ねじ(φ5.1×32)に合うものを手配してください。

〈木製の壁に取り付ける場合〉

製品満水時の質量(REA01型 約3.3kg / RE01M型 約2.8kg)に耐える構造であることを確認してください。
(乾式工法の場合、取付強度を保つため、下地に12mm以上のJAS規格合板相当をお使いください。)
※必要に応じて補強を施してください。

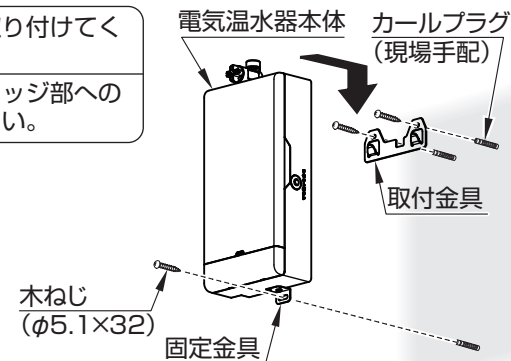
- ①電源コード、アース線、センサーコード(REA01型のみ)を収納する場合は、左背面のツメに固定する。



注意 電気温水器本体を床に仮置きする
場合、傷がつくおそれがあります。
梱包の緩衝材を床に敷くなどして
作業を行ってください。

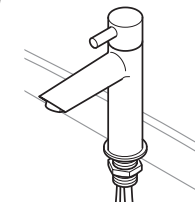
- ②取付金具を位置に合わせて木ねじ2本で固定する。
- ③取付金具へ電気温水器本体を引っ掛け、固定金具を木ねじ1本で固定する。

注意 本体が水平になるように取り付けてください。
電源コードのかみ込み、エッジ部への接触などに注意してください。



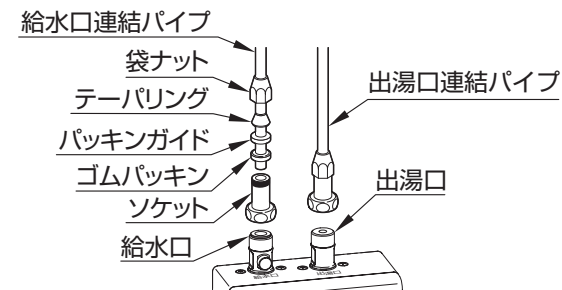
5) 専用水栓の取り付け (RE01M型のみ)

専用水栓に同梱の施工説明書に従って
止水栓・水栓本体を取り付けてください。



6) 配管類接続

RE01M型
専用水栓に同梱の施工説明書
に従って接続してください。



注意 給水口および出湯口への接続は連結パイプのラベル表示を確認して正しく接続してください。

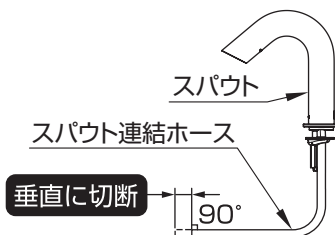
8 取付手順(つづき)

REA01型

6)-1. スパウト連結ホースの切断

スパウト連結ホースを電気温水器の接続口に合うように適切な長さに切断する。

注意 カッターなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。



6)-2. スパウト連結ホースの接続

①スパウト連結ホースにホースクランプを通す。

②ホースを出湯口に差し込む。

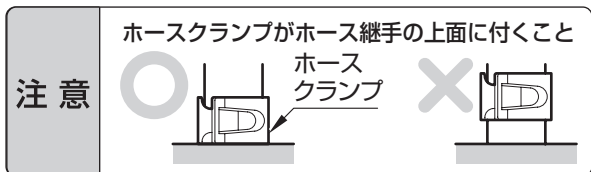
③ホースクランプでホースを固定する。

※ホースが確実に差し込まれているか確認してください。

※ホースが折れ曲がることのないように注意してください。

※ホースクランプは所定の位置にくるようにしてください。

※必ずホースクランプでホースを固定してください。



6)-3. 連結管の接続

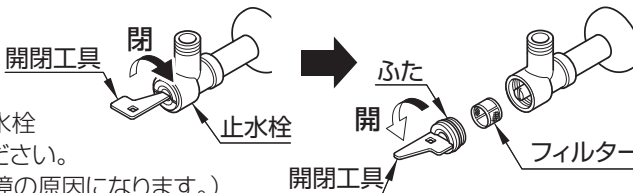
⚠ 注意

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる。フィルターを通したゴミが機器内に入り、故障、水漏れや流量不足の原因になります。



フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、止水栓または元栓を閉めてから行う。水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

給水口に接続する前に止水栓フィルターに詰まったゴミなどを取り除く。

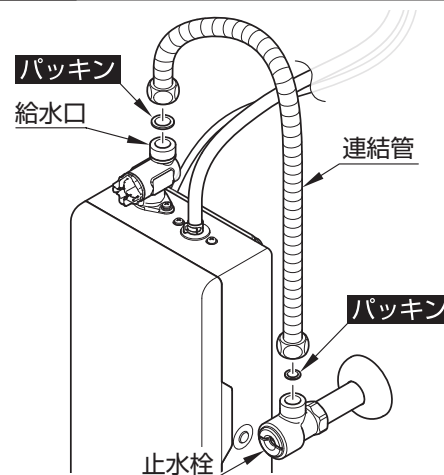


止水栓は必ずフィルター付き止水栓(必要別売品)を取り付けてください。(異物などが混入し、機器の故障の原因になります。)

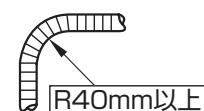
止水栓と給水口を連結管で接続する。

電気温水器と止水栓の接続はフレキシブル管を使用してください。(鋼管などで接続されるとシール剤などが内部に入り動作不良を起こす場合があります。)必ずパッキン(図示)を入れてください。

注意 建築躯体側の配管接着剤が乾燥していない状態で電気温水器を取り付けしないでください。接着剤が乾いていない状態で湯を通すと接着剤が内部に入り動作不良や湯がおお場合があります。必ず接着剤が乾いていることを確認してから取り付けてください。



注意 連結管は、極端に折らないでください。(R40mm以上は確保してください。)



7) センサー内ランプの確認(REA01型のみ)

7)-1. 電源プラグをコンセントに差し込む

⚠ 注意

タンク内が満水になっていないときは、絶対に「電源」スイッチを入れない。空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

注意 電源が入るとただちにスパウトセンサーの感知距離を自動設定するため、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します。)

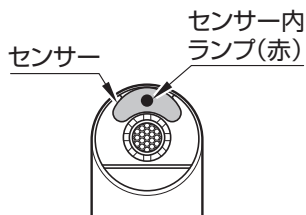
8 取付手順(つづき)

7)-2. センサー内ランプの確認

センサー内に手をかざしたり、陶器内にものを置いたりしない状態で、スパウト先端のセンサー内ランプが点滅していないことを確認する。

※もしも点滅していれば、スパウトの向きを少し変え、点滅しないところに調整してください。

●確認が終わったら電源プラグを抜いてください。



注意 陶器の種類によっては、センサー内ランプの点滅が消えないことがあります。その場合はそのまま設定してください。(ランプの点滅は10分後に消えます。)

※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。自動消滅するまでにスパウトの向きの調整作業が完了しなかった場合は、センサーコネクタを一度抜き、差し込み直してください。

8) スパウトの固定 (REA01型のみ)

〈カウンター式手洗器・壁掛手洗器の場合〉

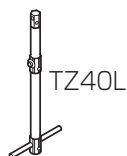
六角ナットを締め付け、スパウトを陶器に固定する。

注意 スパウトを固定する際は、必ず陶器のボウル面中心に向けてください。



※六角ナットの締め用として、別売で専用工具(TZ40L)を準備しておりますが、下記の一般工具でも取付可能です。

- ・ソケットレンチ(対辺 13mm)
- ・T型レンチ(対辺 13mm)
- ・ナットスピナーハンドル(対辺 13mm)



9 電気工事

警告

	指定する電源以外では使用しない ヒーターの断線・火災などの原因になります。
	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者(電気工事士)」が、アース(D種接地工事100Ω以下)工事を行う 誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。
	漏電遮断器を取り付ける 感電・火災の原因になります。

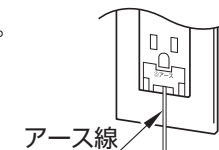
1) コンセントの設置

電気温水器の消費電力は、505W (AC100V 50/60Hz) です。

※規定の電圧以外での使用は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

2) アース工事

電気温水器のアース線を接地用端子に必ず接続してください。



10 試運転

⚠ 注意

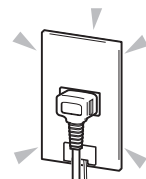


タンク内が満水になっていないときは、絶対に電源スイッチを入れない空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

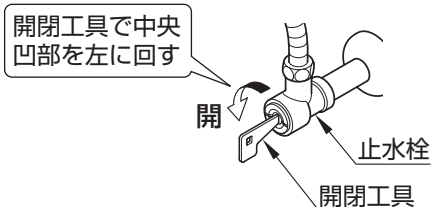
1) 電源スイッチが「切」になっていることを確認する。



2) 電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込む。



3) 止水栓を開ける。

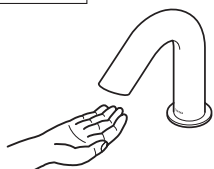


注意

給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水してください。水からにおいがするおそれがあります。

4) タンクに水を入れる。

REA01型



吐水口に手を近づけてセンサーを起動させる。

RE01M型



水栓ハンドルを全開にする。

タンクが満水になるまで約30秒かかります。

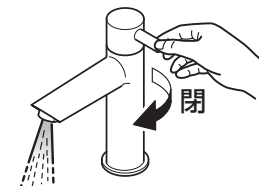
吐水口から安定して水が出はじめると、タンクは満水状態です。

REA01型



手を離して水を止める。

RE01M型



ハンドルを閉めて水を止める。

注意

吐水させると音や振動がする場合があります。そのような場合は、止水栓で調整したり、減圧弁（一軸減圧弁など※現場手配）を取り付けてください。

5) 配管接続部に水漏れがないか確認する。

6) 電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。



水温が高い（約27℃以上）場合はランプが点灯しないことがあります。その場合はタンクに水を入れ直すなど、水温を下げた状態で確認してください。

空焚き禁止（タンクが満水になる前に電源スイッチを「入」にしない）

7) 沸き上がると、電源スイッチのランプが消灯します。

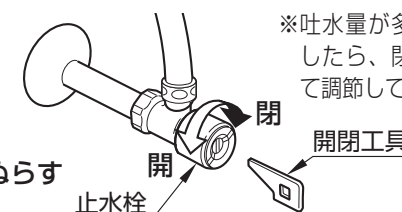
※水温約15℃のとき、約4分かかります。

8) 吐水量の調節

定流量弁を内蔵しており基本的に調節は不要です。ただし、以下に該当する場合は、手順に従って作業を行なってください。

●水の勢が強すぎて衣類などをぬらすおそれのある場合

止水栓を回して、吐水量を調整してください。

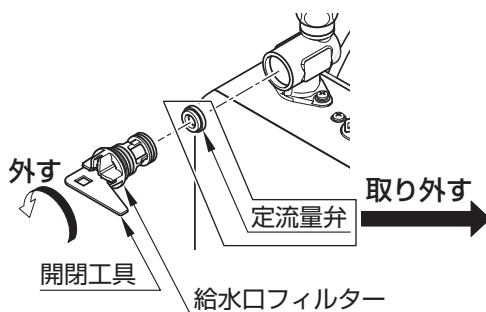


※吐水量が多いようでしたら、閉側に回して調節してください。

10 試運転 (つづき)

●使用水圧が低く、流量が不足する場合 (REA01 型)

- ① 止水栓を閉める。
- ② 給水口フィルターを外し、定流量弁を取り外す。
- ③ 給水口フィルターを本体に取り付ける。
※取り付けは確実に行ってください。
- ④ 止水栓を回して、吐水量を調整してください。

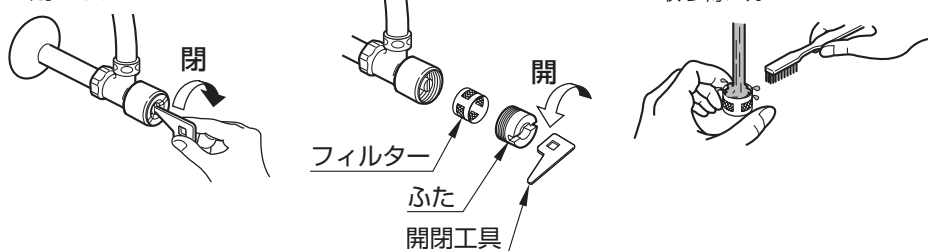


9) フィルターの掃除

フィルターが詰まると吐水量が少なくなり、十分な機能が発揮されなくなります。試運転後は、フィルターを掃除してください。

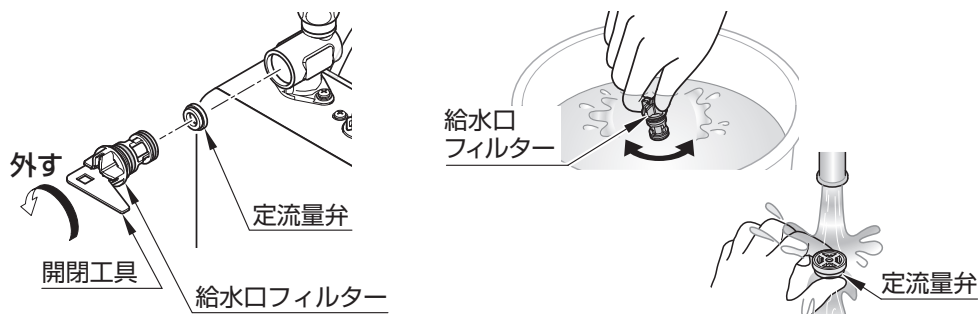
〈止水栓〉

- ① 止水栓または元栓を閉める。
- ② フィルターを取り外す。
- ③ ゴミをブラシなどで取り除く。



〈給水口フィルター (REA01 型のみ)〉

- ④ 給水口フィルターを外す。
- ⑤ 水の中に入れゆすって洗う。



11 水抜き方法

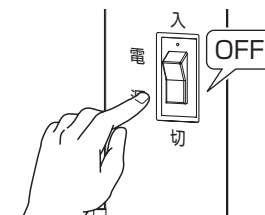
試運転後、引き渡しまで長期間使用しない場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。

⚠ 注意

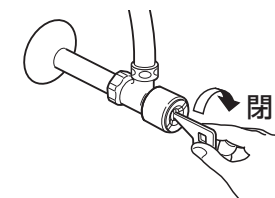


水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする
空焚きとなり、故障・やけどの原因となります。

- 1) 電源スイッチを「切」にする。



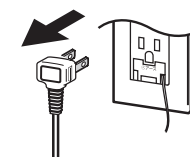
- 2) 止水栓を閉める。



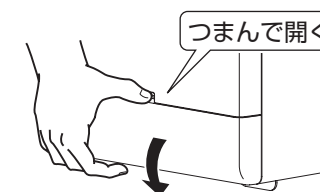
- 3) 吐水口に手を近づけてセンサーを作動させる。
少し吐水した後、水が止まることを確認してください。
(REA01 型のみ)



- 4) 電源プラグを抜く。

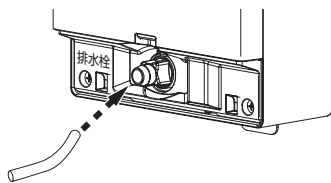


- 5) 点検カバーを取り外す。

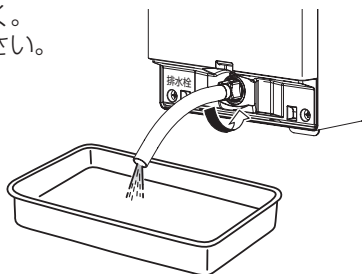


11 水抜き方法 (つづき)

6) 排水栓に水抜きチューブを接続する。



7) 排水栓のツマミを左に回してタンク内の水を抜く。
※水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。



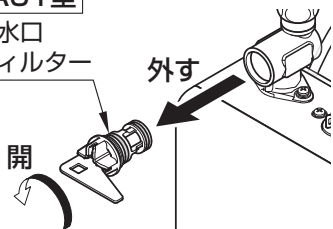
8) 給水口フィルターまたは吸気栓を取り外す。

REA01型

給水口
フィルター

外す

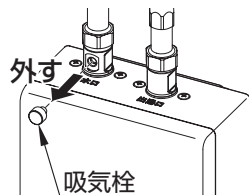
開



RE01M型

外す

吸気栓



※取り外すと水が出ますので、受け皿などで水を受けてください。

水抜き後の処置

- ①排水栓を閉める。
- ②給水口フィルターまたは吸気栓を取り付け、水抜きチューブを抜く。
- ③点検カバーを取り付ける。

注意

REA01型は、寒冷地対応品ではありません。電気温水器・水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
RE01M型は凍結のおそれがある場合は、必ず凍結予防処置を行ってください。(凍結破損し水漏れするおそれがあります)

12 工事店様へ

- 1) 施工が終わったら必ず各接続部から水漏れの無いことを確認してください。
- 2) しばらく使用しない場合は、電源スイッチを切り電源プラグを抜き止水栓を閉め、電気温水器の水抜きをしておいてください。
- 3) お客様に取扱説明書の使用方法、日常の点検・お手入れなどについて十分ご説明ください。
- 4) 特に次のことについては十分にご説明ください。
 - ①タンク内が満水になっていないときは、絶対に電源スイッチを「入」にしないこと。
 - ②吐水口を絶対にふさがないこと。
 - ③沸き上がる途中では吐水口から湯が滴下しますが、これはタンク内の水が膨張するため故障ではないこと。
 - ④凍結のおそれがある場合の破損予防処置。(RE01M型のみ)
 - ⑤冬期使用時、最初に冷たい水が出ることがありますが、これは配管内に残水があるため故障ではないこと。

吐水しない場合

次の点検項目について、確認してください。

REA01 型

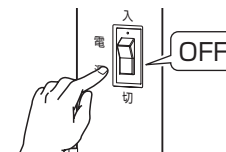
点検項目	処置方法	
断水していませんか？	断水していないか確認してください。	
止水栓が完全に開いていますか？	止水栓を開けてください。	
タンクが満水になっていますか？	タンクが満水になるまで給水してください。	
フィルターにゴミなどが詰まっていますか？	フィルターを掃除してください。	施工説明書 P.12 「9) フィルターの掃除」 参照
停電していませんか？	停電していないか確認してください。	
電源プラグが完全に差し込まれていますか？	電源プラグ・コンセントを確認してください。	
スパウトコードを確実に接続していますか？	スパウトコードの接続を確認してください。	施工説明書 P.7 「3) センサーコードの接続」 参照
タンク内に水が入っていない状態で電源スイッチを入れていますか？	空焚きとなり安全装置が作動している可能性があります。安全装置のリセット操作を行ってください。	施工説明書 P.14 「空焚き時の安全装置 リセット操作」参照

RE01M 型

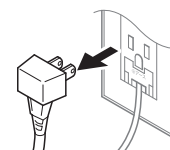
点検項目	処置方法	
断水していませんか？	断水していないか確認してください。	
止水栓が完全に開いていますか？	止水栓を開けてください。	
タンクが満水になっていますか？	タンクが満水になるまで給水してください。	
フィルターにゴミなどが詰まっていますか？	フィルターを掃除してください。	施工説明書 P.12 「9) フィルターの掃除」 参照

空焚き時の安全装置リセット操作

①電源スイッチを「切」にする。



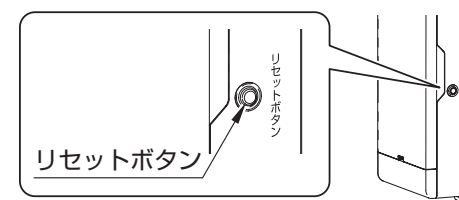
②電源プラグを抜く。



③吐水しなくなってから約20分待つ。

- ※空焚き直後はタンク表面が高温になっているため、安全装置をリセットできません。
- ※RE01M型はタンクへ水を入れて温度を下げれば、リセット操作が可能になります。

④電気温水器右側面のリセットボタンを押す。
(「カチッ」と音がするまで2~3度奥に押し込んでください。)



⑤「10.試運転(P.11)」の手順に従って、動作確認を行ってください。

上記の点検を行っても吐水しない場合は、お客様専用窓口にご相談ください。
(連絡先は取扱説明書の裏面をご確認ください。)